



【学校教育目標】

Treasure Island

笑顔いっぱい

～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛



生徒会・児童会活動での取組みです！

高島っ子総会で決定した今年度の生徒会・児童会のスローガンは「一歩、前進！」です。そして、

- ①ボランティア清掃
- ②レクリエーション活動
- ③個人目標掲示による目標達成

に特に力を入れていくことを、子どもたち自身が決定しました。(Treasure Island 第7号で、お子さんに尋ねてもらえたら！とお伝えしていました。)

先日、朝8時頃、小・中の子どもたちと先生方が玄関に集まり、玄関付近の掃除を行っていました。聞くと、上記①のボランティア掃除がいよいよ始まったということ。自分たちが決めたことを、しっかりと行う。分かっているにもかかわらずありません。素晴らしい子どもたちに育てているなあと改めて感心した朝でした。



主体的・対話的な学びとは？

本校では、研究主任の小担当：[]先生、中担当：[]先生を中心に、校内研修と呼ばれる「学力向上」に向けての取組みを行っています。7日(金)には、3・4年生、[]学級にて他の先生方が参観する中、道徳科の研究授業が行われました。また、その日の放課後、その授業をより良くするための授業研究会が行われました。子どもたちがより主体的に学習に向かうにはどうすればよいのか、どんなところが上手くいって、何が課題なのか？授業研究会ではそのような内容の話合いが熱く行われたところです。

「主体的な学び」とは、学習内容に興味・関心を持ちながら、意欲的にその問題を解決しようとする姿勢です。「対話的な学び」とは、主体的な学びの中で自分の考えを広げたり、深めたりするために、友達と話し合ったり、自分でじっくりと課題に取り組む

様子をいいます。3・4年生の子どもたちは、「いっしょになって、わらっちゃだめだ(節度・節制)」という教材をもとに、登場人物の心情と、これまでの自分とを比較しながらしっかりと考え、道徳的価値を高めました。



キャリア教育って？

7月6日(木)、中学生5名を対象に、日本生命の講師：岩屋智美さんによる「キャリア教育の出前授業」が行われました。キャリア教育とは、子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方ができるよう教育活動を行っていくものです。

子どもたちは、講義を受けながら、聞くばかりでなく、時には友だちと話し合いながら自分の将来について、真剣に考えていました。

ちなみに、今回、来校いただいた岩屋智美さんですが、なんと、宇土が教職2年目に1年生で担任したお子さんでした。およそ30年ぶりの再会にお互いびっくり！岩屋さんは、前日、高島小中のホームページを見た際に「もしかしたら！？」と気付いたそうですが…。そんな風に思ってくれる教え子がいることに感無量の宇土でした。

人とのご縁は本当に不思議です。高島の子どもたちとも、これから末永く繋がっていければと改めて思った嬉しい再会でした。

